



みわ道

～学校・家庭・地域は「共育」のパートナー～

令和2年11月5日発行
筑前町立三輪小学校
所在地：筑前町新町400
TEL：0946-22-2215
文責：校長 東野 正美

福岡県重点課題研究指定・委嘱地域研究発表会

「この授業で、〇〇が分かるようになりたい。」
「前の学習で学んだことが生かせるかな。」
「学習したことで〇〇が分かったぞ。〇〇ができるようになったぞ。」

このような、「自ら課題を設定し、解決できる子ども」をめざして、平成30・令和元・2年度の3年間、三輪小・三輪中合同で福岡県教育委員会の研究指定を受けて共同で研究を行ってきました。その成果の一端を、10月30日(金)に、3年目の最終報告として県内の先生方に披露しました。

今回の研究では、小中一貫で子ども達を育てることも大きな目的となっているため、「問いや見通しを持つ活動」「考えをつくる活動」「考えを再構築する交流活動」「学びを振り返る活動」という小・中で共通した授業スタイルで授業を実践してきました。また、小学校は学年部で、中学校は教科部で授業の後に子どもの姿をもとに授業の成果と課題を明らかにし、さらによりよく改善していくという検証改善サイクルも確立してきました。



1年生 前の時間に習ったことを生かして足し算の仕方を工夫



5年生 読者と筆者の立場から資料の効果をグループで交流

当日は、受付や駐車場整理でPTA本部と運営委員会の皆様にご協力いただきました。ありがとうございました。

5年生が稲刈り体験を

例年、5月の中頃から「塩水選」を行って種まきを使う種もみを選び、苗床をつくって手植えによる田植えをさせていただいていましたが、今年はコロナ禍のため、一連の作業を体験することができませんでした。しかし、岡部さんのご厚意で、稲刈りがまを使っての稲刈り体験を5年生がさせていただきました。稲の生育状況や天候の関係で、何度も日程が変更になりましたが、当日はおやじの会の皆様にもご協力をいただきました。

地域の方に学びながら学習を行えることに、感謝申し上げます。



☆「みわ道」の子☆

「3時間目の体育が終わって、みんなが教室に戻ってくると、棚の上の花瓶が床に落ちて割れていました。」

1年生の道徳科、「われたかびん」という教材文の1部分です。子ども達は、登場人物であるキツネさんの「見ていないのに、オオカミさんがしたときめつけたらいけないよ。」という言葉に、自分自身を振り返っていました。私自身も、きめつけないで相手の話をしっかり聞くことの大切さを、改めて考えさせられました。

